事例No.	1104
公表年度	R2
団体の属性	中核市
団体名	愛知県豊田市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	間伐や路網整備等の取組

事例内容・タイトル

森づくり団地化による間伐の促進

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

愛知県　豊田市（森づくり団地化による間伐の促進）

- 豊田市は、市内の約30,000haのヒノキ・スギの人工林のうち、公有林等を除く私有林約27,000haを対象として間伐を推進することにより、過密人工林を一掃し、すべての人工林について、適正に管理された健全な状態にすることを目指しています。
- そのため、以下の目標を定めました。
  - 2018～2027年度の１０年間で過密ステージ・移行ステージの人工林を中心に12,000ha（1,200ha／年）の間伐実施
  - 間伐を計画的かつ効率的に実施するため、森林所有者が自らの意思で森づくりに関する合意形成や推進を図る「森づくり会議」を地域ごとに設置し、同会議が中心となって団地化（集約化）を推進
- 令和元年度は団地化を推進し、821.41ha（公有林等を除く）の間伐に繋げました。
  - 森づくり団地認定面積　1062.28ha　（H20～累積：12,130.81ha）

□　事業内容

1　森づくり推進組織育成交付金

- 市森づくり条例に規定する「森づくり会議」及び、同会議と一緒に森林調査等を行なう豊田森林組合を支援する。

【事　業　費】21,246千円※交付額（うち譲与税16,983千円）

【実　　績】1062.28ha（境界確認、森林調査、整備計画の実施）

2　間伐促進事業補助金（切置き）

- 人工林の計画的、集団的な間伐を促進し、森林の公益的機能の増進を図るため支援する。

【事　業　費】32,053千円※補助額　（うち譲与税32,000千円）

【実　　績】 88.94ha



（事業１：団地説明会）



（事業１：境界確認）

□　事業スキーム

①森づくり会議設立
②境界確認、測量、森林調査
③森づくり団地計画樹立
　→（森づくり推進組織育成交付金）

④間伐の実施　（国県補助事業又は間伐促進事業等）

□　工夫・留意した点

- 市と森林組合で「団地間伐促進チーム」を結成し、事業を推進。
- 境界確認は森づくり会議が主導となり、実施した。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	60,983千円
②私有林人工林面積（※１）	29,750ha
③林野率（※２）	68.1％
④人口（※３）	422,542人
⑤林業就業者数（※４）	226人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」